

「ガイダンス+マインドマップ」教員指導案

- (1) 目標：2 年次に行う本格的な文系的な課題研究に入るウォーミングアップをする。
- (2) 教材：①「生徒配布資料」（A 3 片面 各自 1 枚）
 ②「新聞記事（朝日新聞朝刊「文系で学ぶ君たちへ」2016 年 4 月 7 日）」（A 3 片面 各自 1 枚）
 ③「マインドマップの例」（A 4 片面 各自 1 枚）
<https://shimojikiyotaka.jp/contents/wp-content/uploads/2014/08/unnamed.png>
 ④「年間授業計画」（A 4 両面 各自 1 枚）
- (3) 持ち物：筆記用具、AKC ファイル、色ペン（数種類）
- (4) 事前準備：① 班分け
 グループワーク A 1 班 3 名
 グループワーク B 1 班 4 名
 ※班編成については、特に指定しません。座席表通りで指定しても、男女が交ざるように担当の先生で指定してもらっても、どちらでもかまいません。
- ②（必要に応じて）座席表
- (5) 担当者：各クラス担任（各教室で実施）

教室	2-1	2-2	2-3	2-4
担当				

(6) 本時の指導計画

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 5 分	本時の内容の確認	・本時は、「ガイダンス」を行うと伝える。	
展開 1 5 分	探究 AKC II α の概要・予定および探究 AKC II α の目標の説明	・探究 AKC II α の概要・予定について理解する。 ・探究 AKC II α の目標について確認する。	・①「生徒配布資料」、④「年間授業計画」を <u>1 人 1 枚</u> 配布する。 ・①「生徒配布資料」、④「年間授業計画」を参考に、説明を行う。 ※最終目標は一人一人が論文を書き、その内容について、3 年 6 月の「探究活動発表会」で発表することを強調する。 ※①「生徒配布資料」の「文系総合の目標」の太字ゴシックになっているところを読み上げる。
展開 2 7 分	ワーク A の記入（個人）	・グループワーク A に分かれる。 ・「新聞記事から文系で研究をする意義とは何か」の読み取りをする。	・「新聞記事」を <u>各自 1 枚ずつ</u> 配布する。 ・3 人の論考のうち、どれを読むのか担当を決める。 ・担当した文章を読み、文系での研究の意義について、読み取った見解をプリントに書かせ、1 分以内で伝えられるようにさせる。（5 分）
展開 3 10 分	ワーク A の共有（班）	・班のメンバーと意見交換しながらワーク A の自分の担当外の部分を記入する。	・グループで、読解した内容を共有させ、他の人が読み取った見解をプリントに書かせる。（7 分） ・ <u>担当の先生から、新聞記事の方向性や探究 AKC II α の目標に沿うように、文系の研究の意義・面白さについて伝える。</u>

展開 4 10 分	ワーク B の記入 (個人)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク B に分かれる。 ・班のメンバーと意見交換をしながら、ワーク B を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・③「マインドマップの例」を<u>各自 1 枚ずつ</u>配布する。 ・4 人グループを作らせる。 ・机を移動させ、4 人班の座席にさせる。 ・グループで、4 つのテーマのうち、どれを担当するのかを決めさせる。 ・マインドマップの記入例をグループに 1 枚配り、その上で手順を確認させる。 ・マインドマップを書く際の以下の注意事項を伝える。 ※枝（中心から伸ばした線）ごとに色分けする。 ※枝の上を書くのは単語にする。文章で書かない。 ※楽しむ。 ・マインドマップに取り組ませる。（7 分）
展開 5 10 分	ワーク B の共有 (班)		<ul style="list-style-type: none"> ・グループで、個々が作成したマインドマップを共有する。<u>見せ合い、コメントし合う中で、新たな連想ができれば、マインドマップに順次付け加えていく。</u>（10 分。ただし<u>残り時間の 3 分前</u>には終了する）
まとめ 3 分	本時のまとめと 次回の連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・AKC ファイルに本時で使用したプリントを綴じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「次回からの 4 回は、コース決めを行うためのプログラムです。各コースで実際に問題になっていることはどういうことかについて、おおよその基礎知識を付けてもらいます。新聞記事が配られるので、それを個人で読み解き、グループで共有していくプログラムを予定しています。」と伝える。

2 年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

令和●年度 第●回 探究 AKCⅡ α (第2学年) 生徒配布資料

1 探究 AKCⅡ α の概要・予定

文型4クラスを「家族・ジェンダー」「経済」「地域・文化」「国際」の4つのコースに分ける。各コースの人数は均等になるようにします。各コースにおいて、全員が論文を書き、3年次の「探究活動発表会」で発表します。

1 学期①：テーマ学習

「家族・ジェンダー」「経済」「地域・文化」「国際」の4つのテーマにおいて、何が問題となっているか新聞記事等を通して知ります。

2 学期①：読解発表準備

入門書の内容を班ごとに分かれて読み解き、レジュメにまとめる。

2 学期②：読解発表

入門書の内容をまとめた成果を「授業形式／ゼミ形式」で発表します。それを通じて入門書の内容を理解します。

2 学期③：問題設定・先行研究調べ・研究

自分が書く論文の「問い」を決め、「先行研究（その問いについてどのようなことが先に研究されているか）」を調べます。

3 学期：各自で研究・論文作成

研究計画を立てつつ、研究し、論文を書きます。担当の先生から適宜アドバイスを受けていきます。

2 探究 AKCⅡ α の目標

探究 AKCⅡ α の目標

(人文・社会) 科学を使える力(科学的思考力を課題発見や問題解決に活用する能力)の育成

1年生では探究 AKCⅠを通じて、「課題発見力、仮説設定能力、物事を多角的に見る力・考える力、知識の活用力、表現力の向上」をさせてきました。2年生では、身に付けてきた力をさらに向上させつつ、文系的なテーマにおいて、そして文系的な手法に基づいて、「**実践的な研究力(課題発見力・仮説設定能力・課題解決力・表現力)の向上**」を目指します。

とは言っても、みなさんには文系でそもそもどのようなことについて研究を行うのか、そしてそれを行う意味はあるのか、分からなかったり、疑問に思ったりするでしょう。

Q1 そこで、とある新聞記事を読んでみましょう。新聞記事に文系の研究の意義はどのように述べられているでしょうか。

問い：文系で研究する意義はどのように述べられている？
新聞記事①
新聞記事②
新聞記事③

3 テーマについて、現段階で発想してみよう

Q2 マインドマップを用いて、「家族・ジェンダー」「経済」「地域・文化」「国際」の4つのテーマにおいて、どのようなことが問題となっているのかについてマインドマップの手法を用いて発想してみよう。

手順1：四人グループ内で担当テーマを決める。

手順2：下の円に担当テーマを書き入れる。

手順3：放射状に線を伸ばす。

手順4：線の上に連想する言葉を書く。

手順5：関連するキーワードを次々を書く。

手順6：四人グループで作ったマインドマップを見せ合い、気付いたことを話し合う。

